

令和4年度 英語評価（保護者・児童）の結果

◇評価は、「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4段階からの選択で実施しました。

◇評価点は、「そう思う」100点、「大体そう思う」75点、「あまりそう思わない」25点、「そう思わない」0点として得点化、50点が中間点です。

◇肯定点は、「そう思う」、「大体そう思う」の肯定的な選択をいただいた割合を示しています。

R4年度 前期評価点 78.4 前期肯定点 88
後期評価点 85.8 後期肯定点 98

R4年度 前期評価点 80.8 前期肯定点 86
後期評価点 80.3 後期肯定点 87

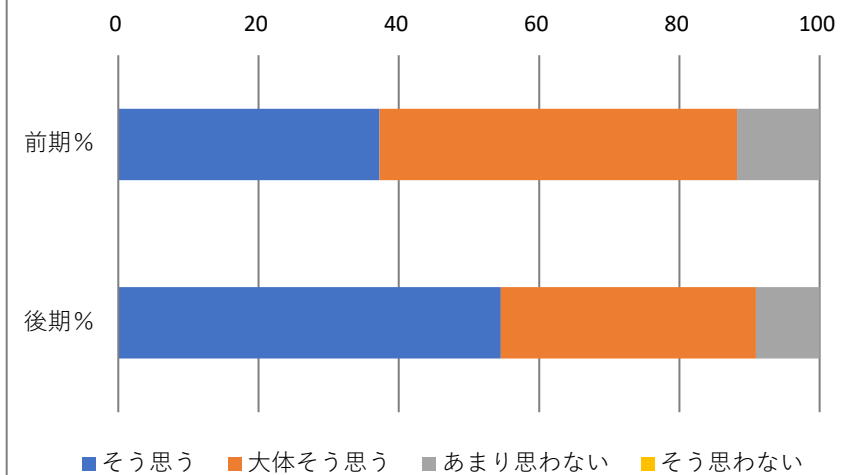
子どもは、英語の学習を楽しみにしている。（保護者評価）

	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
前期	19	26	6	0	51
前期%	37	51	12	0	100
後期	24	16	4	0	44
後期%	55	36	9	0	100

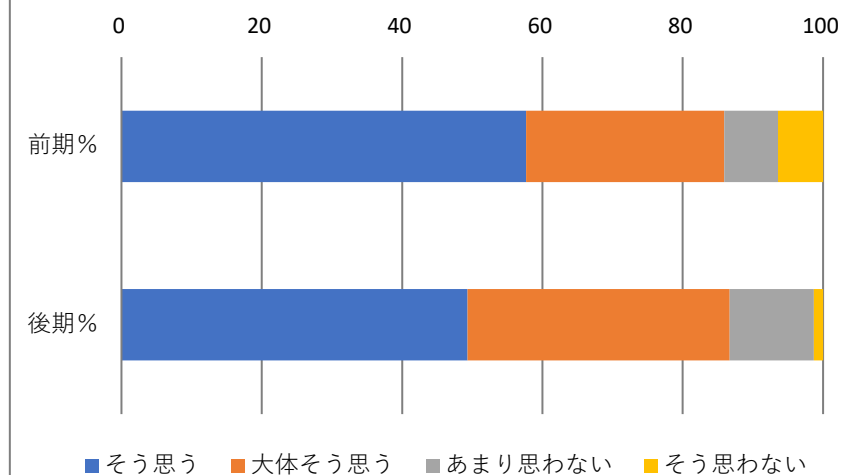
英語の学習は楽しい。（児童評価）

	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
前期	45	22	6	5	78
前期%	58	28	8	6	100
後期	37	28	9	1	75
後期%	49	37	12	1	100

子どもは、英語の学習を楽しみにしている。（保護者評価）



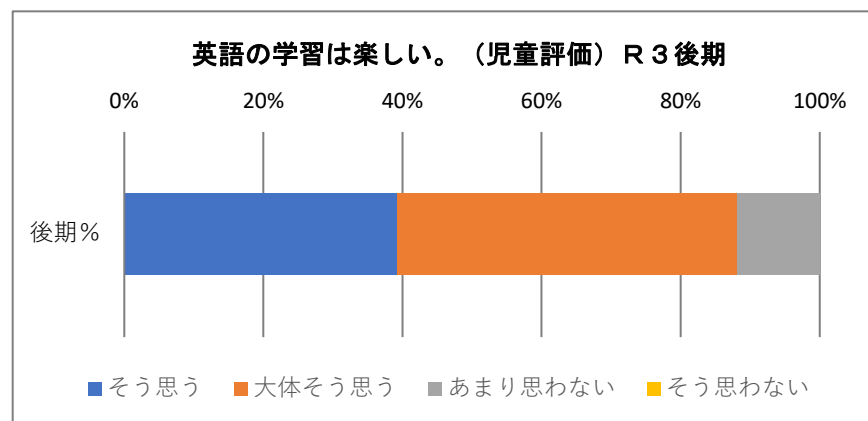
英語の学習は楽しい。（児童評価）



R3後期 評価点 78.9 肯定点 88.0

子どもは、英語の授業を楽しみにしている。(保護者評価)

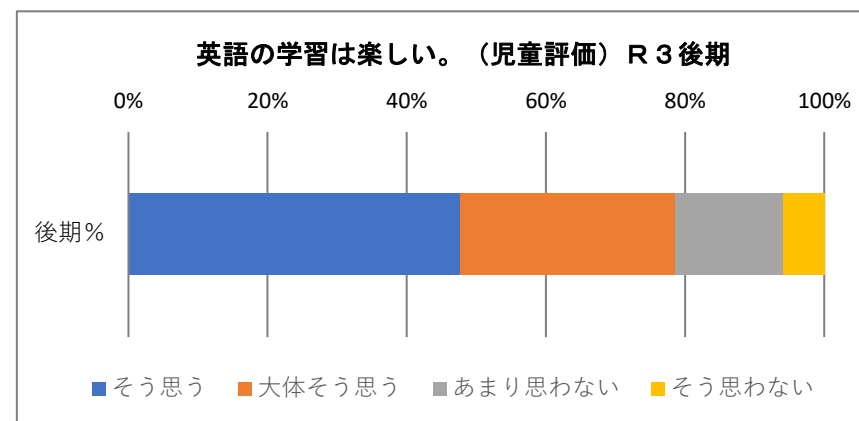
	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
後期	33	41	10	0	84
後期%	39	49	12	0	100



R3後期 評価点 74.7 肯定点 78.5

英語の学習は楽しい。(児童評価)

	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	そう思わない	合計
後期	40	26	13	5	84
後期%	48	31	15	6	100



考察

- ・保護者評価は、後期の評価点が前期より7.4ポイント上昇し、85点超となった。学習の様子を知っていただくよう努めたことが高評価につながっているのではないかと。
- ・児童の評価は、前期と後期で0.5下がっているが、どちらも80点超の評価点である。
- ・児童評価の上昇は、モジュールを含めた学習（指導）内容や方法の改善とともに、児童たちが英語に親しんできた結果ではないかと。
- ・保護者、児童ともに令和3年度後期との比較では、5～7ポイント程度上昇している。
- ・高評価につながった要因を精査し、さらに英語指導の充実に努める。